

グリーンスローモビリティ「モビタ」川崎フロンターレ仕様車両の導入について

本市とサッカーJ1・川崎フロンターレとは、東日本大震災からの復興支援と相互交流を目的に、高田フロンターレスマイルシップ友好協定を平成27年9月に締結しており、本年は本協定に基づく交流が始まってから10年の節目を迎えたところです。

本市ではグリーンスローモビリティ「モビタ」を活用した自家用有償旅客運送を市内中心部や市営住宅（災害公営住宅）で展開していますが、今般、株式会社川崎フロンターレ（神奈川県川崎市、代表取締役社長：吉田 明宏）様のご協力の下、同チームのチームカラーやエンブレムを随所に用いた「川崎フロンターレ仕様」のモビタを新たに導入し、運用することとなりましたのでお知らせします。本市のモビタは3台目となります。

記

1 車両の概要

- (1) 導入車両 グリーンスローモビリティ「e-COM4」1台
- (2) 乗車定員 運転手含め7人乗り
- (3) 製造元 株式会社シンクトゥギャザー（群馬県桐生市、代表取締役：宗村 正弘）
- (4) 価 格 車両購入費約19,139千円＋デザイン料約748千円
財源…地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（補助率1／2）等
- (5) 主要諸元 裏面のとおりであり、既存の2台とほぼ同様です。
- (6) デザイン 市から(株)川崎フロンターレ側に基本となるデザインの作成を依頼し、最終稿を基に両者で検討の上、決定したものです。

2 車両の運用

現行の路線である道の駅循環線（土日祝、12便）及び今泉団地・中田団地両循環線（月火水運行、各3便）に充当し、既存の緑・オレンジの車両と合わせて3台によるローテーションを組み運用することとしています。

3 運行主体

一般社団法人陸前高田グリーンスローモビリティ（代表理事：小出 浩平）

運行に当たっては、既存車両と同じく、当該車両を市から運行主体に対して無償貸与します。

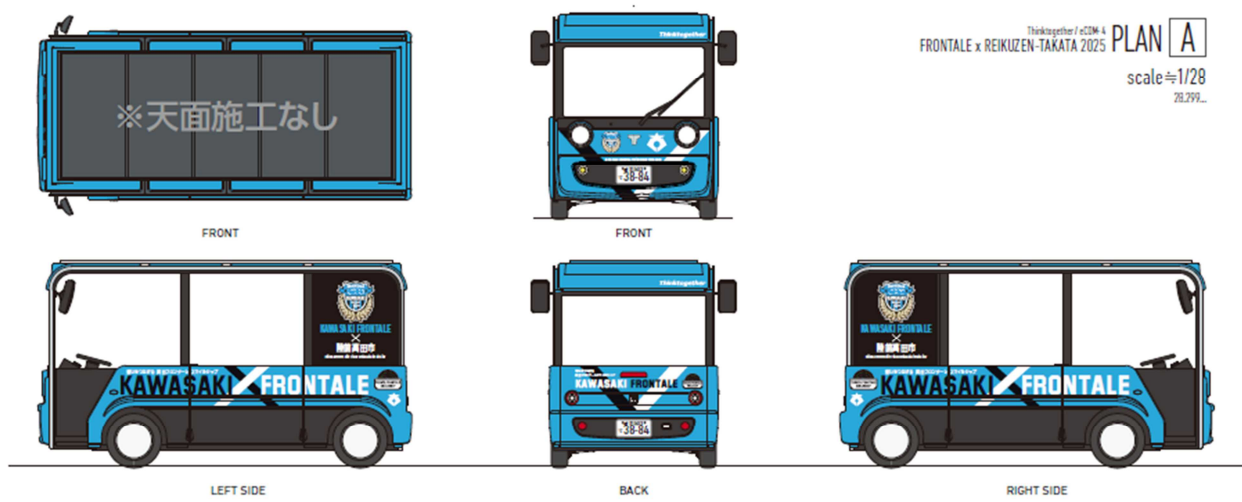
4 お披露目

令和7年10月25日（土）、26日（日）開催の「陸前高田市産業まつり」において、一般公開などを行う予定です。

諸元

車 両 重 量	8 4 0 kg
車 両 総 重 量	1, 2 2 5 kg
サ イ ズ	全長 3, 6 3 0 mm×全幅 1, 6 4 0 mm×全高 1, 9 7 0 mm
定 格 出 力	1. 5 kW×4 輪
燃 料 の 種 類	電気
バ ッ テ リ ー	リチウムイオン電池
一 充 電 走 行 距 離	5 0 km ※1 9 km/h で平坦路を走行した場合
入 力 電 源	単相 1 0 0 V
充 電 時 間	9 時間

デザイン決定稿



実物写真

